



## 中央アジア地域ニュース

### ウズベキスタン：ウラン及び金採掘量の増加 (6月12日付「BW ビジネスレポート」紙)

1. ウズベキスタンのキジルクム砂漠のほぼ中央に位置するウチュクドクは、当国唯一のウラン採掘、最大の金採掘企業であるナボイ採掘精製コンビナートの中心であり、半世紀前にウラン鉱床が発見され、1958年より同砂漠の開発が開始された。
2. ナボイ採掘精製コンビナート(NGMK)によれば、今年第1四半期の生産量は近代的技術・設備の導入により、昨年同期比153.8%、金の生産では予定より8.9%上回った。
3. ウラン生産に関しても強化が進んでいる。短期間でウランの収着ユニットの指導、対象生産物の製造が可能な採掘・精製施設が建設された。また、継続中の施設の再建設により硫酸化物の安定的供給が行われている。
4. NGMKは「2007年から2012年におけるウラン生産国家プログラム」により操業しており、同コンビナートの最大支局である北部採掘管理部では、2012年までに硫酸化物の生産を毎年45万トン、パートナー企業と併せると49万トンに引き上げる予定。また、近代的冷却システム等を建設して、生産を更に拡大する予定。

(注：ウズベキスタンの金の生産量は57 - 59トン。ウランの生産量は2000トン強で、埋蔵量は、IAEAの評価では世界第7位の5万5千トン。)